

プロジェクト「オダ」

私たち九州大学建築学科は、
トルコ地震の震源地に 2024年1月
「コミュニティーセンター」を建設します。

九州大学・末廣研究室・福岡・日本

2023年トルコ・シリア地震によって、およそ60,000人の命が奪われ、100万もの人々が家を失いました。トルコだけでもおよそ200万人の被災者が都心から遠く離れたコンテナハウスの仮設団地に暮らしています。そこに住む4人家族には新しい家ができるまで21㎡のコンテナが支給されます。

私たち末廣研究室は、震災後の支援や被災地を訪れて仮設団地のコミュニティーニーズを調査する活動の経験があります。そこに住む住民の要望をもとに、末廣研究室は被災地のカフラマンマラシュにある仮設団地にコミュニティーハウスを建設することを目指します。

このプロジェクトは私たち末廣研究室が熊本地震後の被災地に建設したコミュニティーハウスをヒントに、トルコの被災地に多機能なコミュニティースペースを提供することで仮設団地の生活環境を向上することを目的としています。

どうしたら建てられるのでしょうか？

下のリンクから寄付を行うことができます。

二次目標：400万円

クラウドファンディングのwebサイト”readyfor.jp”を通じて九州大学が寄付を募っています。



Donation link: https://readyfor.jp/projects/becat_turkey

寄付サイトのQRコードです。詳しくはこちらをご覧ください。



寄付受付期間： 2023/11/8 - 12/22

末廣研究室プロジェクトメンバー：末廣 香織/ダーオール アイシェ ニハン/仮屋 翔平